



学校法人近畿大学弘徳学園
近大姫路大学
近畿大学豊岡短期大学
近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園

平成22年度 事業報告書

学校法人 近畿大学弘徳学園

I 法人の概要

はじめに

このたびの東日本大震災で被災されました方々、またその関係者の皆様には、衷心より、お見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を、お祈り申し上げます。

(1) 学園設立とあゆみ

学校法人近畿大学弘徳学園は、平成16年4月に学校法人近畿大学から、近畿大学豊岡短期大学（同通信教育部）及び同附属幼稚園を母体として分離・独立しました。そして、多年の懸案であった看護系の四年制大学、「近大姫路大学看護学部看護学科」を平成19年4月に開学し、近畿大学の姉妹法人として、3つの学校を運営する学園へと発展し、さらに、平成19年12月に文部科学省から、「近大姫路大学教育学部こども未来学科及び同通信教育課程」増設の認可を受け、平成20年4月に増設しました。その結果、本学園の経営規模は、独立4年目にして姫路市及び豊岡市に2つのキャンパスを有し、近大姫路大学の2学部2学科に、教育学部通信教育課程を加え、近畿大学豊岡短期大学こども学科及び同通信教育部並びに同短大附属幼稚園等を運営する学園となりました。

(2) 学園の建学の精神と教育目標

本学園の建学の精神は、近畿大学の創設者である世耕弘一先生が説かれた「教育の目的は、人に愛され、信頼され、尊敬される人を育成することにある」を座標軸としています。そして、この精神を具現化するためには、自然環境に対する優しい心、人をおもいやる心、社会に対する深い洞察力及び正しい歴史観を体得することによって、はじめて、人に愛され、人に信頼され、人に尊敬される人間を養い得ると考えています。

この建学の精神を達成するために、本学園では次の教育目標をかかげ、その実現に向け教職員一体となって邁進することに努めています。

- ①人間は人間だけで生きているのではなく、自然の中で他の生命とともに、生かされているという認識及びその共生を推進するための実践力を培います。
- ②専門職業人としてもつべき基本的な倫理観及び思いやりの心を培います。
- ③専門的に必要な基礎知識・技術を修得するとともに、創造性を培います。
- ④社会・歴史に対応する深い洞察力を身に付けるとともに、豊かな人間性を培います。
- ⑤国際社会に適応しうる感性を育み異文化を理解しうる力を培います。

I 法人の概要

(3) 学校法人の沿革 (概要)

昭和	26年	2月	学校法人近畿大学認可
	39年	3月	近畿大学附属豊岡女子高等学校設置認可
	42年	1月	近畿大学豊岡女子短期大学設置認可
	42年	4月	近畿大学豊岡女子短期大学開学(家政科)
	44年	3月	近畿大学豊岡女子短期大学通信教育部家政科設置認可
	44年	7月	学生食堂竣工
	46年	1月	近畿大学豊岡女子短期大学幼児教育科設置認可
	46年	2月	近畿大学豊岡女子短期大学(幼児教育科)保母養成校指定
	47年	1月	近畿大学豊岡女子短期大学通信教育部幼児教育科設置認可
	48年	1月	近畿大学豊岡女子短期大学児童教育科設置認可
	48年	3月	近畿大学豊岡女子短期大学通信教育部(幼児教育科)保母養成校指定
	48年	3月	近畿大学豊岡女子短期大学幼児教育科廃止
	48年	4月	近畿大学豊岡短期大学児童教育学科初等教育学専攻、幼児教育学専攻増設
	55年	2月	近畿大学豊岡女子短期大学児童教育研究所附属幼稚園設置認可
	55年	4月	近畿大学豊岡女子短期大学児童教育研究所附属幼稚園開学
	59年	9月	近畿大学豊岡学園歌制定
	60年	7月	近畿大学豊岡女子短期大学 和花季会館竣工
平成	元年	4月	近畿大学豊岡女子短期大学を近畿大学豊岡短期大学に名称変更
	4年	11月	近畿大学豊岡短期大学創立25周年記念式典
	4年	12月	学生食堂ログハウス竣工
	7年	4月	グラウンド完成
	7年	11月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部創立25周年記念式典
	14年	4月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部社会福祉士養成通信課程開設
	15年	11月	学校法人近畿大学弘徳学園設置認可
	16年	4月	近畿大学豊岡短期大学並びに近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園を学校法人近畿大学から学校法人近畿大学弘徳学園へ設置者変更
	17年	4月	近畿大学豊岡短期大学幼児教育学科を近畿大学豊岡短期大学こども学科に名称変更
	17年	4月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部幼児教育学科を近畿大学豊岡短期大学通信教育部こども学科に名称変更
	17年	5月	私立学校法改正に伴う寄附行為変更届認可
	17年	5月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部創立35周年記念式典
	18年	11月	近大姫路大学看護学部看護学科設置認可及び寄附行為変更申請認可
	19年	4月	近大姫路大学開学(看護学部看護学科)
	19年	12月	近大姫路大学教育学部こども未来学科設置認可及び寄附行為変更申請認可
	19年	12月	近大姫路大学教育学部こども未来学科通信教育課程設置認可及び寄附行為変更申請認可
	20年	1月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部こども学科保育士養成課程定員変更(1,000人→1,800人)
	20年	3月	近畿大学豊岡短期大学生活情報・福祉学科廃止
	20年	4月	近大姫路大学教育学部こども未来学科開設
	20年	4月	近大姫路大学教育学部こども未来学科通信教育課程開設
	21年	1月	収益事業廃止に伴う寄附行為変更申請認可
	21年	3月	近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園定員変更に伴う園則変更申請認可(100人→60人)
	21年	4月	近畿大学豊岡短期大学こども学科入学定員変更(50人→40人)
	21年	10月	近畿大学豊岡短期大学通信教育部創立40周年記念式典

I 法人の概要

(4) 設置する学校・学部・学科等

- 近大姫路大学 所在地：兵庫県姫路市大塩町2042 - 2
 看護学部 看護学科
 教育学部 こども未来学科
 通信教育課程 教育学部こども未来学科
- 近畿大学豊岡短期大学 所在地：兵庫県豊岡市戸牧160番地
 こども学科
 通信教育部 こども学科
 通信教育部 生活情報・福祉学科（平成19年4月 学生募集停止）
 通信教育部 社会福祉士養成通信課程
- 近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園 所在地：兵庫県豊岡市戸牧160番地

(5) 学校・学部・学科等の学生数の状況

入学定員、収容定員、現員数 等

(単位：名)

	学部・学科等	入学定員	収容定員	在学(園)者数	備考	
近大姫路大学	看護学部看護学科	100	400	416	平成19年4月開設	
	教育学部こども未来学科	80	340	190	平成20年4月開設 (学年進行中) (3年次編入定員10名)	
	通信教育課程 教育学部こども未来学科	1,000	4,600	317	平成20年4月開設 (学年進行中) (3年次編入定員300名)	
近畿大学豊岡短期大学	こども学科	40	80	77	平成21年4月入学 定員変更(10名減)	
	通信教育部	生活情報・福祉学科	—	—	3	平成19年4月より 学生募集停止
		こども学科	2,000	6,000	3,187	
		社会福祉士養成通信課程 (修業期間：1年7ヵ月)	300	—	平成21年度 323 平成22年度 236	
近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園	3歳児	—	100	25		
	4歳児	—		33		
	5歳児	—		30		

(平成22年5月1日現在)

I 法人の概要

(6) 役員の概要（就任順）

理事長	上田 正一	常 勤	平成16年 4月 1日	理事就任
理 事	辻 寛	非常勤	平成16年 4月 1日	理事就任
理 事	南 裕子	常 勤	平成17年10月 1日	理事就任
理 事	上田 弘二	常 勤	平成19年 4月 1日	理事就任
理 事	長谷川 定宣	常 勤	平成19年 4月 1日	理事就任
理 事	北見 篤史	常 勤	平成19年 4月 1日	理事就任
理 事	吉川 智	常 勤	平成19年 4月 1日	理事就任
理 事	大柳 治正	常 勤	平成19年 5月 1日	理事就任
理 事	植田 義弘	非常勤	平成19年 6月 1日	理事就任
理 事	大原 勇	常 勤	平成21年10月 1日	理事就任
理 事	安木 健	非常勤	平成22年 4月 1日	理事就任
監 事	西馬 正義	非常勤	平成20年 4月 1日	監事就任
監 事	後藤 真	非常勤	平成22年12月15日	監事就任

(平成23年3月31日現在)

(7) 評議員の概要

評議員 23 人

(平成23年3月31日現在)

(8) 教職員の概要

近大姫路大学

看護学部

教 授	10 人
准 教 授	4 人
講 師	10 人
助 教	7 人
助 手	7 人

教育学部

教 授	9 人
准 教 授	5 人
講 師	5 人
助 教	3 人

通信教育課程

講 師	2 人
-----	-----

職 員	51 人
-----	------

近畿大学豊岡短期大学

教 授	5 人
准 教 授	3 人
講 師	7 人

職 員	35 人
-----	------

近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園

教 諭	4 人
常勤講師	3 人

(平成23年3月31日現在)

II 事業の概要

(1) 事業の概要

平成22年度の主な事業の進捗状況は次のとおりです。

近大姫路大学

1. 教育研究の充実と授業の質的向上等を目的とする主な取り組み

(1) 大学教育の質向上への一体的な取組支援

①FDへの取組

近大姫路大学における内容および方法を点検し、それを改善するための方途を策定しました。

②自己点検・評価への取り組み

原則として、月1回、学内委員会を開催し、認証評価基準に基づいた見直し及び改善について協議を行いました。

また、今後、大学基準協会での評価を受けるべく、主担当者および副担当者を決めて申請書類の作成に取りかかりました。

(2) 教育・学習方法等の充実・改善

①国内だけでなく、海外も視野にいた、幅広い技術や技能を持った看護師を養成するために、各種育成および支援プログラムの習熟を図りました。

《具体的な取組み》

- グローバルな視点で健康管理ができる看護師育成プログラムの開発
- マルチメディア教材(PC@LL)利用による総合的英語力向上プログラムの開発
- 看護への学習意欲と実践能力向上をめざした体験学習プログラムの試み
- 居宅看護学における在宅での排泄管理、褥瘡予防管理の方法および効果の実体験と技術の習得
- 小児医療的ケアモデルを活用したこども看護実践能力の向上と学習支援
- 障害者ニーズに基づいた看護援助技術習得のための教育プログラムの開発

②学生サービスの観点から通信教育課程教務システムのカスタマイズを実施し、教務事務の適正化と効率化を図りました。

2. 地域貢献事業の実施

地域貢献活動等を重視する見地から、大学コンソーシアムひょうご神戸への積極的な参画、シニア層を対象とした公開講座等を開催しました。

また、学生会を中心として大塩地区クリーン作戦に取り組むなど、大学を挙げて地域貢献活動事業に取り組みました。なお、近隣住民に対しては、年間100日程度グラウンドを開放し、物的資源での地域貢献を行いました。

《具体的な取組み》

- まちの寺子屋 師範塾（計5回開催 参加者数128名）
- キッズ・オープンキャンパス（計2回開催 参加者数635名）

- シニアオープンカレッジ（計5回開催 参加者数174名）
- 源氏物語を読む会（計6回開催 参加者数305名）
- トライアルウィーク（大的中学校職業体験実習）
- 教員免許状更新講習会（計8講座 参加者数292名）
- 姫路市政策研究助成事業（2件採択）
 - テーマ①：グローバル化社会における医療サービスのあり方の検討
～在日外国人看護の現状と医療観光の可能性～（看護学部 神原ゼミ）
 - テーマ②：幼老交流（世代間交流）の推進（教育学部 長瀬ゼミ）

3. 授業料減免の実施

経済的理由により、修学が困難な学生に対し、授業料の免除を実施しました。

対象学生数：看護学部（27名）
教育学部（7名）

4. （看護学部）看護師・保健師・助産師国家試験対策の推進

国家試験対策室を設置して、対策講座、補習授業、模擬試験、個別学習指導を行いました。また、eラーニングの有効活用、専門的な業者への委託などを通じて幅広い対策を講じました。

（各種国家試験受験状況）

看護師：	受験者数93名	合格者数86名	合格率92.5%	全国平均（新卒）96.4%
保健師：	受験者数88名	合格者数54名	合格率61.4%	全国平均（新卒）89.7%
助産師：	受験者数4名	合格者数3名	合格率75.0%	全国平均（新卒）98.2%

5. （教育学部）教員採用試験対策講座の実施

教員採用試験対策室を設置して、対策講座、模擬試験、個別学習指導を行いました。また、専門業者への委託などを通じて幅広い対策を講じました。

近大姫路大学（通信教育課程）

1. 募集学科・取得免許資格等

教育学部		募集人員		修業年限		取得できる 免許・資格
学科	コース	1年次入学	3年次編入	1年次入学	3年次編入	
こども 未来学科	大学卒業を目的とするコース	300名	200名	4年	2年	学士(教育学)
	教員資格コース	400名	100名			学士(教育学)
						幼稚園1種免許状
						小学校1種免許状
保育士養成コース	300名	—	養護1種免許状			
						学士(教育学)
						保育士資格

〈募集期〉 ○ 4月入学生：2月1日～4月30日

○ 10月入学生：8月1日～10月31日

2. 学習内容

幼稚園免許・小学校免許・養護免許・保育士資格取得に対応した教育課程により、教員資格コースや保育士養成コース等を設け、学生のニーズにより履修コースを決定できるようにしています。正科生入学の他に科目群履修生として、4年制大学を卒業した学生が教員免許課程を履修して希望教諭免許を取得できるコースも設置しています。

具体的な学習としては、本学オリジナルのテキストに基づき学習する通信授業と、本学等の会場に出向いて受講する面接授業（スクーリング）での学習となります。

① 通信授業

通信授業では、テキストに基づき学習してレポートを提出し、科目試験を受験します。

科目試験の会場は、学生の便宜を考慮して、最寄会場で受験できるように本校の外に地方会場として北海道から沖縄までの約20会場を設け、年7回の試験を実施しています。

② 面接授業（スクーリング）

本学では、勤労学生の便宜を考慮して、主に1科目1.5日の集中講義方式のスクーリングとして実施し、1年間で約4週間の出席となります。スクーリングは、連続して実施する本校スクーリングの他に土日中心に実施する地方スクーリングを開講し、学生の受講機会を増やすとともに出来るだけ居住地の近くで受講できるようにしています。

<本校>

夏期スクーリング：8月19日～9月24日に集中して、1～4年次の全科目開講

春期スクーリング：2月25日～3月29日に集中して、1～4年次の全科目開講

<地方>

北陸（新潟）、関東（東京）、近畿（大阪・東大阪・豊岡）で、8月～翌年2月までの主に土・日曜日に、各学年次の一部科目を開講

3. 学習支援

① 特修生制度

大学への進学意欲はあるが、高校中退等により大学入学資格のない方に、本学1年次（正科生）への入学資格を得させる制度です。

② 新規資格養成課程

図書館司書・学校図書館司書教諭・学芸員の資格を取得できるように、平成22年度に文部科学省に設置申請を行い、平成23年度より各資格が取得できることとなりました。

近畿大学豊岡短期大学 こども学科

1. 地域貢献を目的とした交流への積極的な参加

兵庫県立但馬文教府と連携し、みてやま学園大学院修了生「四季の会」と異世代間の交流を通し、地域社会に貢献できる人材を育成しています。

また、「こどもフェスタ」「育ち合いのなかまづくり」は、学生や四季の会の方、教員の協働により進行しオペレッタや大型仕掛け絵本など、日ごろの製作や練習の成果を発揮し、楽しい時間を過ごしました。その他、食のフェア、たじま子どもまつり、国際交流、近大よさこい大会など、コミュニケーション能力育成の場となっています。

2. 近大姫路大学への編入学をサポート

近大姫路大学教育学部こども未来学科をはじめ、20数大学への編入学の道が開かれています。近大姫路大学教育学部こども未来学科への編入は、カリキュラムに一貫性を持たせ、編入しやすい制度となっています。さらに、学費については、入学金全額免除と、3・4年次授業料半額免除となる特典があります。

3. 充実した多彩な奨学金制度

経済的理由により、大学進学が困難な学生に対して就学を諦めることのないよう、他大学にない奨学金制度を設けており、保育士・教職特待生や課外活動奨学生など、独自の特色ある制度となっています。また、奨学金を返還する必要はありません。

4. 一人ひとりの計画を実現する就職指導・進路指導

平成22年度の卒業生就職率は100パーセント。学生が早い時期から仕事の意識を持ち、希望する進路への就職を実現できるよう就職ガイダンスなどの就職情報提供や、個人指導で就職活動をバックアップしています。

5. 充実した施設設備

500人収容可能なホール、隣接した附属幼稚園、21室のピアノレッスン室、最新のコンピュータールーム、ログハウスの食堂など、充実した施設を完備しています。

近畿大学豊岡短期大学 こども学科 (通信教育部)

1. 募集学科・取得免許資格等

学 科	募集人員	修業年限	取得できる免許・資格
こども学科	2,000名	3年	幼稚園2種免許状
			保育士資格
			社会福祉主事任用資格

※保育士養成は1,800名

〈募集期〉 ○ 4月入学生 : 1月10日～ 6月10日

○ 10月入学生 : 8月 1日～11月30日

2. 学習内容

幼稚園免許・保育士資格取得に対応した教育課程により、保育士取得コースや幼稚園免許・保育士取得コース等を設け、学生のニーズにより履修コースを決定できるようにしています。

具体的な学習としては、本学オリジナルのテキストに基づき学習する通信授業と、本学等の会場に向いて受講する面接授業（スクーリング）での学習となります。

① 通信授業

通信授業では、テキストに基づき学習してレポートを提出し、科目終末試験を受験します。

科目終末試験の会場は、学生の便宜を考えて、最寄会場で受験できるように本校の外に地方会場として北海道から沖縄までの約50会場を設け、年7回の試験を実施しています。

② 面接授業（スクーリング）

本学では、勤労学生の便宜を考慮して、主に1科目1.5日の集中講義方式のスクーリングとして実施し、1年間で約2週間の出席となります。スクーリングは、連続して実施する本校スクーリングの他に土日中心に実施する地方スクーリングを開講し、学生の受講機会を増やすとともに出来るだけ居住地の近くで受講できるようにしています。

<本校>

夏期スクーリング：7月24日～8月8日に集中して、1～3年次の全科目開講

秋期スクーリング：10月30日～11月24日までの土・日曜日に、一部科目開講

春期スクーリング：3月14日～3月30日に集中して、1～3年次の全科目開講

<地方>

北海道（札幌）、関東（東京）、中部（名古屋・岡崎）、近畿（大阪・東大阪・姫路）で、6月～11月までの主に土日曜日に、1・2年次の全科目と3年次の一部科目を開講

3. 学習支援

① 巡回相談会

年2回、春期と秋期に本学職員が出向いて、全国各地で学習上の個別的な相談などが出来る「巡回相談会」を設け、新入生にはオリエンテーションとして実施し、在学生には個々の学習の進め方を指導し、ドロップ・アウト対策として実施し、卒業へと導いています。

② 特修生制度

大学への進学意欲はあるが、高校中退等により大学入学資格のない方に、本学1年次（正科生）への入学資格を取得させる制度です。

4. 社会福祉士養成通信課程

大学・短大が直接開設する1年7ヵ月の社会福祉士を養成する「一般養成施設」です。こども学科とは異なり、大学卒業者を主な入学資格とし、所定のレポート・スクーリングと相談援助実習（4週間）の合格により修了することによって、社会福祉士国家試験の受験資格を取得する課程です。

スクーリングは、本校の外に地方会場（水戸、東大阪、姫路、沖縄）で年間5日間開講しています。

近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園

1. 保育の充実と質的向上等を目的とする主な取り組み

①「自然体験活動の推進」

近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園は、市内唯一の私立幼稚園で、周りを高い山に囲まれ静かで緑豊かな中にあり、本園では創設当初から大切にしている自然体験を積極的に取り入れた指導を行っています。

○畑では季節の野菜を育て、近隣地域に四季折々の果物狩り（りんご・なし・ぶどう等）に親子で出掛けています。

○神鍋山も近く、登山や冬に雪が降ると親子でそり滑りに出掛ける等、2～3年保育の中で様々な自然体験活動を行っています。

○年長児で経験する宿泊保育（1泊2日）では、親元を離れ、兎野高原の雄大な自然の中で、友だちと寝食を共にします。

野外ならではの、山歩き・キャンプファイヤー等をクラスが一丸となり、活動を進めていく中で、自然の偉大さはもとより、自分で考えて行動する自立心が芽生え、友だちの大切さ、家族の大切さ等、体験から多くを学ぶ事ができます。

②「幼稚園における食育の推進」

「食育」では、給食を始めて2年目。今年度からは、週3回の給食を始めました（2回は米飯給食、1回はパン給食）。

子ども達の手で栽培し収穫した野菜を給食の食材とし、全児で収穫に感謝し、採りたて新鮮な味を味わっています。

近年子ども達の食に対する習慣の乱れが問題になっている中、全児が集まり楽しい雰囲気の中で食事を摂ることが、偏食（主に野菜）の克服に繋がり、また、食事のマナー（配膳・箸の使い方・姿勢・食べ方〔三角食べ〕等）について多くの職員で子ども達の姿を見守りながら指導を進めることができ、子ども達の食への意識が高まってきています。

午前の活動を存分に楽しんだ後、お腹を空かせて摂る昼食は食も進み、残飯量も少なくなってきました。

保護者よりその成果が家庭での食事にも反映されていると期待の声が聞かれ、食育指導のより一層の充実を図っているところです。

③「幼小連携」

本年度は、平成21年度に幼稚園教育要領が改定された事を受け、「小学校との連携」を重点的に進めました。「幼小連携」は、公立の幼稚園と小学校間のみ連携が行われていました。しかし、豊岡市には私立の小学校が無く、本園の卒園児はすべて公立の小学校へ就学します。これを踏まえ、本園も小学校との連携活動に参加する必要があり、市教育委員会に交渉し、平成22年度から参加しています。

市内2か所の小学校へ歩いて出向き、小1年生、小5年生との交流活動に参加しました。これにより、5歳児の就学への不安が解消され、希望を持って就学へと進めたように感じられました。

④「地域の子育て支援」

- キンダープラッツ（預り保育）・未就園児の受入を行い、外部講師を招いて、子育て支援を目的とした教育講演会等を実施しました。
- 保育終了後の課外講座として、剣道教室・書道教室を開講しました。
- 外部講師を招いて親子参加の就学前教育講演会を実施しました。

⑤「保育環境充実等を目的とする施設設備の改修の主な事業」

- 平成21年度に園庭を芝生化し、3年目となります。定着してきれいに生え揃い、子ども達は裸足で駆け回っています。芝生や砂・土の感触を十分に味わい、竹馬に勇んで挑戦している姿は、健康的、躍動的であり、頼もしいものです。
- 射光不足の保育室照明設備等の見直しを行い、明るい保育室へと改修工事を行いました。

III 財務の概要

(1) 決算の概要

① 資金収支計算書の状況

(単位:千円)

収入の部	金額	備考
学生生徒等納付金収入	2,059,866	・授業料、入学金、実習料等の納付金
手数料収入	92,377	・入学検定料等の手数料
補助金収入	266,182	・私立大学等経常費補助金他
資産運用収入	1,522	・預金利息他
事業収入	13,308	・スクールバス代他
雑収入	23,690	・コピー代等その他の収入
前受金収入	393,166	・翌年度の学生生徒等納付金
その他の収入	49,697	・預り金等
資金収入調整勘定	△ 389,594	・前期末前受金等
前年度繰越支払資金	796,868	・前期末の現金預金
収入の部合計	3,307,082	

支出の部	金額	備考
人件費支出	1,446,098	・本俸、賞与、諸手当、所定福利等
教育研究経費支出	505,677	・教材等教育研究にかかる経費
管理経費支出	274,210	・学生募集経費等教育研究経費以外の経費
施設関係支出	2,759	・建物等施設に関する支出
設備関係支出	48,962	・機器備品等設備に関する支出
その他の支出	103,332	・前期末未払金の支払等
予備費		
資金支出調整勘定	△92,019	・期末未払金等
次年度繰越支払資金	1,018,064	・翌年度に繰越す現金預金
支出の部合計	3,307,082	

② 消費収支計算書の状況

(単位:千円)

収入の部	金額	備考
学生生徒等納付金	2,059,866	} ※資金収支計算書参照
手数料	92,377	
寄付金	7,568	・現物寄附
補助金	266,182	} ※資金収支計算書参照
資産運用収入	1,522	
事業収入	13,308	
雑収入	24,264	
帰属収入合計	2,465,088	
基本金組入額合計	△22,350	・第1号・第4号基本金組入額
消費収入の部合計	2,442,737	

支出の部	金額	備考
人件費	1,459,228	} (退職給与引当金繰入額含)
教育研究経費	652,654	
管理経費	296,474	} (減価償却費含)
資産処分差額	4,844	
予備費		
消費支出の部合計	2,413,199	
当年度消費収支超過額	29,538	・収入超過 (前年度支出超過から 264,844千円収入増)
前年度繰越消費収支超過額	1,461,718	・支出超過状態
翌年度繰越消費収支超過額	1,432,180	・支出超過状態

※ 千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。

③ 貸借対照表

(単位:千円)

	金額	備考
固定資産	5,547,565	・土地、建物、備品他
流動資産	1,033,592	・現金預金他
資産の部合計	6,581,156	
固定負債	93,293	・退職給与引当金他
流動負債	534,490	・未払金、預り金他
負債の部合計	627,783	
基本金の部合計	7,385,553	・1号、4号基本金
消費収支差額の部合計	△1,432,180	
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	6,581,156	

(2) 経年比較

① 資金収支の経年比較

(単位:千円)

収入の部	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
学生生徒等納付金収入	1,417,406	1,289,713	1,353,954	1,687,223	2,059,866
手数料収入	93,687	74,459	75,825	85,796	92,377
寄付金収入	5,776	7,080	5,383	3,897	0
補助金収入	749,672	167,832	217,213	251,627	266,182
資産運用収入	3,896	2,728	2,187	1,599	1,522
事業収入	4,755	5,371	8,013	10,813	13,308
雑収入	14,933	14,817	15,640	13,421	23,690
前受金収入	374,122	331,457	372,224	374,844	393,166
その他の収入	36,710	677,310	51,720	64,353	49,697
資金収入調整勘定	△1,017,884	△405,916	△354,723	△383,839	△389,594
前年度繰越支払資金	3,610,621	2,397,806	1,030,637	808,029	796,868
収入の部合計	5,293,695	4,562,657	2,778,071	2,917,760	3,307,082

支出の部	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
人件費支出	673,036	836,210	1,210,267	1,344,480	1,446,098
教育研究経費支出	383,994	351,302	427,609	443,146	505,677
管理経費支出	231,925	448,322	250,424	255,493	274,210
施設関係支出	2,176,559	40,317	6,399	17,605	2,759
設備関係支出	187,555	121,866	74,514	73,819	48,962
資産運用支出	0	0	0	0	0
その他の支出	1,009,404	1,784,249	71,339	90,288	103,332
予備費					
資金支出調整勘定	△1,766,583	△50,244	△70,510	△103,940	△92,019
次年度繰越支払資金	2,397,806	1,030,637	808,029	796,868	1,018,064
支出の部合計	5,293,695	4,562,657	2,778,071	2,917,760	3,307,082

※ 千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。

※資金収支とは

当該会計年度における諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容と当該会計年度における支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするためのものであり、1年間のお金の動きを網羅したものです。

② 消費収支の経年比較

(単位:千円)

収入の部	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
学生生徒等納付金	1,417,406	1,289,713	1,353,954	1,687,223	2,059,866
手数料	93,687	74,459	75,825	85,796	92,377
寄付金	6,178	13,167	15,855	10,641	7,568
補助金	749,672	167,832	217,213	251,627	266,182
資産運用収入	3,896	2,728	2,187	1,599	1,522
事業収入	4,755	5,371	8,013	10,813	13,308
雑収入	14,933	16,873	15,640	13,421	24,264
債務保証損失引当金戻入益	0	0	0	240	0
帰属収入合計	2,290,528	1,570,143	1,688,687	2,061,358	2,465,088
基本金組入額合計	△1,553,729	△1,887,293	△107,600	△47,281	△22,350
消費収入の部合計	736,798	△317,150	1,581,087	2,014,077	2,442,737
支出の部	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
人件費	668,209	845,781	1,217,971	1,360,229	1,459,228
教育研究経費	436,747	512,479	607,612	606,825	652,654
管理経費	249,138	480,857	279,793	280,247	296,474
資産処分差額	0	1,983	767	1,886	4,844
徴収不能額	0	0	105	195	0
債務保証損失引当金繰入額	0	0	1,229	0	0
消費支出の部合計	1,354,094	1,841,100	2,107,478	2,249,383	2,413,199
当年度消費収支超過額	△617,295	△2,158,250	△526,391	△235,306	29,538
前年度繰越消費収支超過額	2,075,525	1,458,229	△700,021	△1,226,412	1,461,718
翌年度繰越消費収支超過額	1,458,229	△700,021	△1,226,412	△1,461,718	1,432,180

③ 貸借対照表

(単位:千円)

	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
固定資産	5,898,691	5,873,321	5,754,567	5,662,407	5,547,565
流動資産	3,054,221	1,063,049	831,390	808,760	1,033,592
資産の部合計	8,952,912	6,936,369	6,585,957	6,471,167	6,581,156
固定負債	15,901	25,472	34,406	91,863	93,293
流動負債	2,157,752	402,596	462,041	477,820	534,490
負債の部合計	2,173,653	428,068	496,447	569,682	627,783
基本金の部合計	5,321,029	7,208,322	7,315,922	7,363,203	7,385,553
消費収支差額の部合計	1,458,229	△700,021	△1,226,412	△1,461,718	△1,432,180
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	8,952,912	6,936,369	6,585,957	6,471,167	6,581,156

※ 千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。

※消費収支とは

当該会計年度の消費収入及び消費支出の内容と収支の均衡状態を明らかにするものであり、1年間の事業成績(学校経営の採算状態)を判断するもので、企業会計における「損益計算書」に近いものといわれています。

※貸借対照表とは

当該会計年度末における総資産及び総資金の額とその内容を明らかにすることにより、総資産(借方)と総資金(貸方)のバランス状態を明らかにするもので、企業会計における「貸借対照表」(B/S)と同じものです。

Ⅲ 財務の概要

(3) 財務比率比較

主要財務比率の経年比較

比率名		算式	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H22全国平均	評価
収入構成	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金	61.9%	82.1%	80.2%	81.9%	83.6%	53.6%	～
		帰属収入							△
	寄付金比率	寄付金	0.3%	0.8%	0.9%	0.5%	0.3%	2.2%	高い値が良い
		帰属収入							×
	補助金比率	補助金	32.7%	10.7%	12.9%	12.2%	10.8%	10.8%	高い値が良い
		帰属収入							○
支出構成	人件費比率	人件費	29.2%	53.9%	72.1%	66.0%	59.2%	50.0%	低い値が良い
		帰属収入							×
	教育研究経費比率	教育研究経費	19.1%	32.6%	36.0%	29.4%	26.5%	36.0%	高い値が良い
		帰属収入							×
	管理経費比率	管理経費	10.9%	30.6%	16.6%	13.6%	12.0%	8.1%	低い値が良い
		帰属収入							×
	借入金等利息比率	借入金等利息	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	低い値が良い
		帰属収入							○
	基本金組入率	基本金組入額	67.8%	120.2%	6.4%	2.3%	0.9%	10.7%	高い値が良い
		帰属収入							×
減価償却費比率	減価償却額	5.1%	10.5%	9.7%	8.3%	6.9%	9.7%	～	
	消費支出							△	
収支バランス	人件費依存率	人件費	47.1%	65.6%	90.0%	80.6%	70.8%	93.2%	低い値が良い
		学生生徒等納付金							○
消費収支比率	消費支出	183.8%	-580.5%	133.3%	111.7%	98.8%	107.9%	低い値が良い	
	消費収入							○	
状況	帰属収支差額比率	帰属収入-消費支出	40.9%	-17.3%	-24.8%	-9.1%	2.1%	3.7%	高い値が良い
		帰属収入							×
資産構成	自己資金構成比率	自己資金	75.7%	93.8%	92.5%	91.2%	90.5%	85.0%	高い値が良い
		総資金							○
基本金比率	基本金	75.7%	100.0%	100.0%	99.3%	99.3%	96.6%	高い値が良い	
	基本金要組入額							○	
資産構成	固定資産構成比率	固定資産	65.9%	84.7%	87.4%	87.5%	84.3%	86.1%	低い値が良い
		総資産							○
流動資産構成比率	流動資産	34.1%	15.3%	12.6%	12.5%	15.7%	13.9%	高い値が良い	
	総資産							○	
資産の備蓄	流動比率	流動資産	141.5%	264.0%	179.9%	169.3%	193.4%	229.5%	高い値が良い
		流動負債							×
前受金保有率	現金預金	640.9%	310.9%	217.1%	212.6%	258.9%	325.4%	高い値が良い	
	前受金							×	
負債の割合	固定負債構成比率	固定負債	0.2%	0.4%	0.5%	1.4%	1.4%	9.0%	低い値が良い
		総資金							○
負債比率	総負債	32.1%	6.6%	8.2%	9.7%	10.5%	17.7%	低い値が良い	
	自己資金							○	
固定比率	固定資産	87.0%	90.2%	94.5%	95.9%	93.2%	101.4%	低い値が良い	
	自己資金							○	

※ 全国平均は、平成22年度版「今日の私学財政大学・短期大学編」の大学法人から抜粋しています。

上記は、財務比率の経年比較と全国平均との比較をおこなったものであります。

(4) 財務の概要について

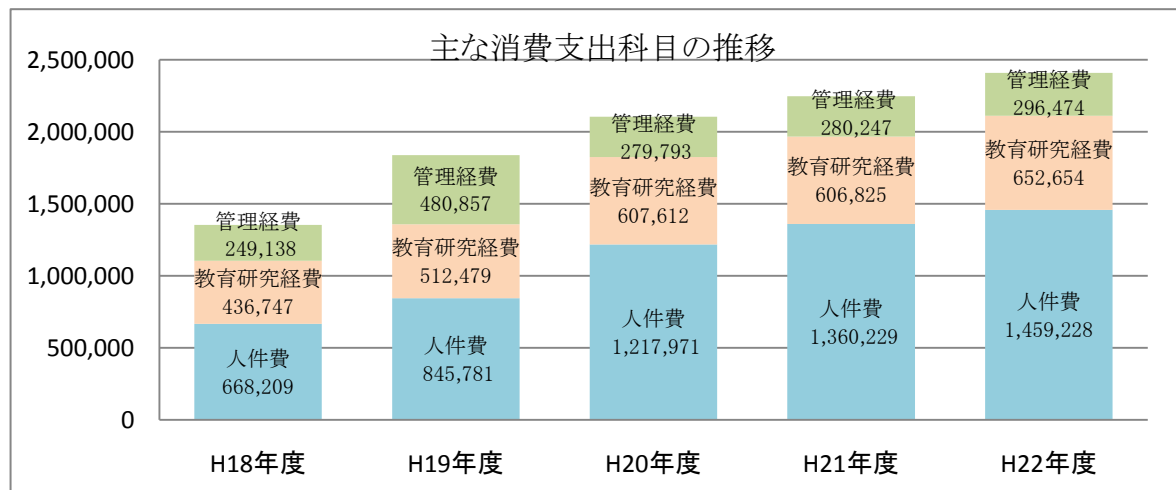
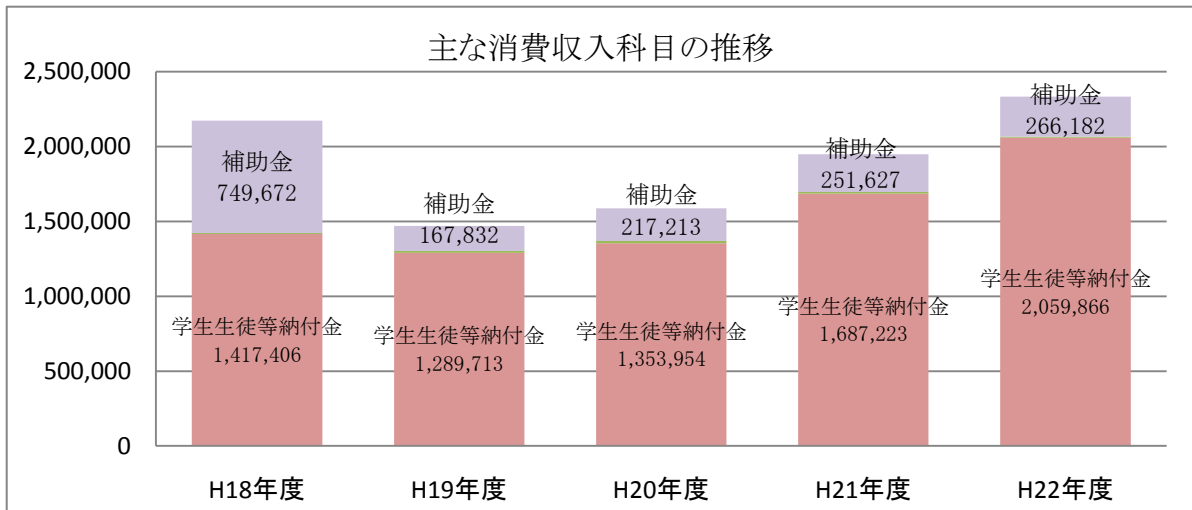
本学園は、平成16年度に近畿大学より法人分離独立し、それまで保有した自己資金を原資に4年制大学新設等の事業をおこなってきました。したがって、平成19年度4月に新たに開学した4年制大学、近大姫路大学看護学部と、平成20年4月に開設した、教育学部と通信教育課程が完成年度を迎えるまでは、資金収支計算書における次年度繰越支払資金、いわゆる現金預金の増加はあまり見込めない状態となっておりましたが、看護学部が完成年度を迎えた平成22年度決算では、前年度に対して、この次年度繰越支払資金が約2億2千万円の増加となりました。

消費収支の状況においても、単年度決算では当年度消費支出超過（赤字）の状態でも推移してきましたが、平成22年度決算では、当年度消費収入超過（黒字）となりました。この収入増加の要因としては、学年進行等による学生数の増加が挙げられます。

貸借対照表では負債が資産を上回る状態ではなく、外部負債である借入金は0円であり、安定しているといえます。

今後も安定した法人経営を行うため、収支均衡を目指し、累積された赤字を早く改善することが重要だと考えています。

(単位：千円)



(5) その他

① 補助金の交付通知状況

平成22年度 学校法人近畿大学弘徳学園補助金交付状況一覧 (単位：円)

近大姫路大学	私立大学等経常費補助金（一般補助）	102,485,000
	私立大学等経常費補助金（特別補助）	28,884,000
	姫路市結核予防費補助金	63,089
	姫路市シニアオープンカレッジ助成金	97,000
	小計	131,529,089
近畿短期大学豊岡	私立大学等経常費補助金（一般補助）	50,461,000
	私立大学等経常費補助金（特別補助）	52,593,000
	結核定期健康診断実施費補助事業補助金	14,247
	小計	103,068,247
近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園	兵庫県私立学校（幼稚園）経常費補助金	29,053,000
	豊岡市私学振興事業補助金	1,000,000
	地域わくわく陽だまり活動事業補助金	360,000
	ひょうご多子世帯保育料軽減事業補助金	72,000
	私立幼稚園預かり保育推進事業補助金	1,100,000
	小計	31,585,000
合計	266,182,336	

② 科学研究費等外部資金の受入状況

平成22年度 科学研究費補助金交付一覧 (単位：円)

	研究種目	所 属	職名	直接経費	間接経費
研究代表者	基盤研究（C）	近大姫路大学 看護学部看護学科	教授	700,000	210,000
	基盤研究（C）	近大姫路大学 看護学部看護学科	准教授	800,000	240,000
	基盤研究（C）	近大姫路大学 看護学部看護学科	准教授	700,000	210,000
	基盤研究（C）	近大姫路大学 看護学部看護学科	講師	500,000	150,000
	挑戦的萌芽研究	近大姫路大学 看護学部看護学科	教授	1,100,000	0
	研究活動スタート支援	近大姫路大学 看護学部看護学科	助教	460,000	138,000
	研究活動スタート支援	近大姫路大学 看護学部看護学科	助教	780,000	234,000
	研究活動スタート支援	近大姫路大学 看護学部看護学科	講師	1,050,000	315,000
	研究活動スタート支援	近大姫路大学 看護学部看護学科	助手	880,000	264,000
	若手研究（B）	近大姫路大学 看護学部看護学科	講師	1,100,000	330,000
研究分担者	挑戦的萌芽研究	近大姫路大学 看護学部看護学科	講師	200,000	0
	基盤研究（A）	近大姫路大学 看護学部看護学科	准教授	200,000	60,000
	基盤研究（B）	近大姫路大学 看護学部看護学科	教授	200,000	60,000
	基盤研究（B）	近大姫路大学 看護学部看護学科	講師	100,000	30,000
	基盤研究（B）	近大姫路大学 看護学部看護学科	准教授	0	0
	基盤研究（C）	近大姫路大学 看護学部看護学科	教授	200,000	60,000
	基盤研究（C）	近大姫路大学 看護学部看護学科	教授	100,000	30,000

平成22年度 姫路市政策研究費助成金交付状況一覧 (単位：円)

所 属	研究グループ名	交付決定額
近大姫路大学 看護学部 看護学科	国際看護研究ゼミ	130,000
近大姫路大学 教育学部 こども未来学科	長瀬ゼミ	120,000

③ 受託研究費受入状況

(単位：円)

受託事業名	委託先	期間	交付決定額
介護予防支援活動研究事業	姫路市	平成22年8月1日～平成23年3月31日	830,000